

“鮮度一番！”

No.154

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 新年のご挨拶 ひとことコラム
- 2 ～3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 3 ～4 / 発見！ただの魅力～ひろこの突撃レポート～
- 4 ～5 / さんじょう地名メモ…「田島と島田」 地域経営課からです～
- 6 / 新年会のご案内 編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年、東日本大震災や7.29豪雨の発生、実父の永眠などもあり、ふと気がつくとも一度も顔を合わせなかった会員の皆様が多くなった年でした。人生の限られた時間を一緒に過ごしている皆様との楽しい語らい、これこそが幸せだな～と思っています。

本年も皆様のお声(電話・ファックス・メールなんでも可)をお願い致します。

三条女性会議代表 野崎ミチコ

・・・ひとことコラム・・・

昨年11月から娘が里帰り出産で家に居ます。暮れに無事に二女を産み喜んでおります。

さて、沐浴指導に開業助産師さんをお頼みしました。そうしたところ、何とお台所の流しで沐浴すると言い準備を始めました。エエーッ !! お皿じゃないんだから・・・ 大根白菜じゃないんだから・・・と思いました。が、やってみるとママが中腰にならなくてもいいし、腕もキッチンの縁が支えになって楽だと言います。私にとってもお湯を運ばなくてもいいし、何より節水になっていること、時間も無駄がないことを目のあたりにして、「なるほどナァ！」と感心しました。助産師さんはどんな新商品があるか、どのようなものが出回っているか、お店を見て回って勉強していて、その家庭の環境によって使い勝手の良いものを推薦しているそうです。食事をするテーブルの上に赤子を置き、手際よく世話している娘の顔は誇らしく微笑んでいました。

赤ちゃん用品だけでもこんなに色々新しいものが出ているのですから、この子の時代は、大きく考えると生まれたときからパソコン・携帯電話がある生活ですから、これからどんな新しいものと出会うのか楽しみではあります。

一方では、大人の簡単、便利を追求するあまり、赤ちゃんとしては手足を伸ばしてゆっくりに入りたいなァと思っているであろう気持ちをおろそかにしていることにはなるのではないかと思います。

1ヶ月の間ではありますが、便利グッズを使うこととして、人間らしく人間らしく、一瞬一瞬を大切に育てていきたいと思いながら孫たちの顔を見めています。

R. N

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年1月11日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

寒さも本番ですが、気持ちはホットに新年のスタートをきりました。
次回の運営委員会は、新年会の前(2月8日午後6時~)に行きます。

1. 2月8日(水)新年会について

市外へ転居した会員さんから、家庭内の調整をつけて新年会へ出席するとの嬉しい連絡が入りました。やっぱり田辺とも子さんが、余市で仕込んだ10年物のウイスキーの威力はすごい!!

6ページに新年会の案内を入れました。まだ一回も出席したことがなく恥ずかしがり屋の皆様、参加してください。楽しいですって!

2. 第3回体験プログラム検討部会(1/24)について

「大人の女性のためのしただツアー」でお世話になったしただ郷のうきうきフェスタの皆様が、春の企画に向けてお食事会込みの会議を持たれます。今回は、観光業の皆様も出席されるとのことで、当会にとっても良いお話があるのでは…と宇治、野崎の2名が参加します。

3. 平成23年度「交流学习会議」(3/9,10)について

昨年、宇治さんが参加した又エックの「交流学习会議」の担当者から、分科会で「地域における男女共同参画推進の実践事例」の発表者を推薦して欲しいとの連絡がありました。当会の活動内容が、実践事例にぴったり合うのは間違いないと自負していますが、いかんせん人的余裕がないため、運営委員会で結論は出ませんでした。

4. まちづくりイベント広報について

NPOさんじょうが代表を務める三条市ESD協議会より、平成23年度新潟県「新しい公共」モデル事業として各種イベントが開催されます。

お問い合わせは、NPOさんじょう(TEL34-8960)まで。

1月13日(金) 三条まちなかトークライブ

1月14日(土) 地域の社会力向上をめざして

1月28日(土) 子どもたちの笑顔を守るために 第1弾(14:00~15:30)

講師：茅原クリニック院長 茅原 保さん

2月 6日(月) 子どもたちの笑顔を守るために 第2弾(10:30~12:00)

講師：CAP・にいがた

(第1弾、2弾とも主催 三条おやこ劇場)

5. 審議会等について

以下の報告が、ありました。

第3回三条市介護保険運営協議会報告

安室 久恵

12月27日、第3回三条市介護保険運営協議会が開催され、次期（第5期介護保険事業計画—平成24年度から平成26年度）の計画案が提示された。冊子にまとめられた計画案が審議委員への送付が遅れ、事前に十分な検討することができなかったことは反省される。事務局からの説明、委員からの質疑に対する応答があったが、1月に計画案に対するパブリックコメントを求め、さらに内容に検討を加える予定である。委員はもちろんのことだが、多くの方々の意見を期待したい。また上昇が見込まれる介護保険料についての設定作業も進められているとの報告があった。

6. その他

新潟県女性財団より、3月18日（日）13:30～15:30「高齢社会における女性の生き方」（仮題）講師：樋口恵子さんの講演会が開かれます。当会からは、田辺・安室・西方・野崎が参加します。お申込みは、女性財団(TELO25-285-6610)まで。

Vol. 10

発見！ しただの魅力

～ひろこの突撃レポート～

しただ郷地域コーディネーター 近藤洋子

「自然薯パワーで団結する、北五百川地区のじねんじょまつり」

皆さんご存知のとおり、しただ郷の特徴は五十嵐川水系の流域で構成されているという事が一つ言えるかと思えます。その水系の中で、三条市内を背にしている湯らていの左奥に流れる「駒出川」（こまでがわ）沿いにある集落が北五百川（きたいもがわ）地域です。「北五百川の棚田」でも有名な地域です。最初見たとき、この字はなんと読むのか？苦心しました。なぜ、五百＝「いも」なのか、いまだにわかりませんが、この謎ときは地名研究会の杉野さんにお譲りすることにして、今回取り上げるのは、「北五百川の自然薯（じねんじょ）」です。

3年前から取り組み始めたというこの自然薯栽培、最初、「自然薯＝天然」で、「栽培物＝山いも」と思っていた私は、今回そのイメージを全く覆されました。その日は12月11日（日）、北五百川集落センターで「じねんじょまつり」があるとのことで、ご招待を受けていました。

そういえば、離婚してからお祝い事のおさそいがぱったりとなくなっていました。ここぞとばかりに箆笥に20年間眠っていた着物を出して、姉に着付けしてもらいました。ご招待客は国定市長を

はじめとして県の振興局長や土地改良区の方々など、そうそうたる方たちばかりです。

受付で松の葉を渡すとどこかでお会いした事があるような方。後でこっそりとなりの方に尋ねると、燕三条地場産センターの次長さんでした。いつもダブルのスーツをパリッと着こなしていらっしゃる方が、普段着で集落センターにいらっしやると全く違和感なく地元の人たちと同化していらっしやいました。さすが、TPO をわきまえてらっしやると感心していると自分の着物姿が恥ずかしくさえ思えます。しかし、着てしまったものをいまさら脱ぐわけにもいかず、会場に向かいます。約70人の集落の方たちがお集まりです。自治会長さんのご挨拶です。「90数世帯の北五百川集落で70人も集まる機会はめったにない、新年会よりも多い人が本日はお集まりいただいた」と、さらに「自然薯を作り始めて去年は15軒、今年は30軒の農家が作りました。この調子でいくと来年は60軒が参加してくれるんじゃないかと期待しています。そのうち北五百川は「やまいもがわ」に改名するんじゃないかと思っています。」とおっしゃり、終始笑いをとりながら、和やかな雰囲気です。来賓あいさつの後、自然薯の品評会、そして国定市長の講演会です。「ただ郷の未来像は自然と食を活かした着型観光だ」とお話になり、皆さん熱心に聞かれています。

そしてお待ちかねの懇親会です。その後の動きの速い事！お父さんたちがテーブルを運び、割烹着姿のお母さんたちが配膳の準備をし、私がオロオロしながら箸とコップを置いているとあっという間に宴会準備完了！そこに出てきたごちそうはまさに自然薯づくしです。自然薯の衣のかきあげ、自然薯ののっぺ、とろろに千切り、自然薯入り豚汁、自然薯つなぎのそば、さらにただ名物のひこぜん、地元のお母さんの手作りの漬物など、ここで食べて感じたのはこれが本当に栽培された山いもなのか？と思うほどのもっちりとした粘りのある、まさに**自然薯**といえる粘りなのです！！自然薯の栽培はデリケートで難しいらしいのですが、地中にパイプを斜めに入れてそれに沿ってまっすぐに伸びるようにして栽培されます。また、パイプを入れなくて、自然な形の育てる方法もあるそうです。いも類が育ちやすいといわれるただの土壤に、また新たな特産品が生まれていきそうです。

また、1つの集落でこんなに大勢の皆さんが集まり、楽しそうに大宴会ができる、この結束力の強さにも圧倒されました。下田地域の中でも高齢化が進んでいる森町地区、その中で元気な北五百川地域で休耕田の活用ができ、ただの明るい未来が開けていきそうなそんな元気な、楽しい集落行事でした。

追記：昨年秋に収穫された自然薯は好評を博し、残念ながらほとんど売ってしまったそうです。今年の秋はさらに収量を増やして生産される予定です。北五百川の自然薯を食べてみたい方、今年の晩秋までしばらくお待ちください。

さんじょう地名メモ (5)

「田島と島田」

三条地名研究会 杉野真司

田島と島田の地名の違いを訊ねられ、自分の狭い見ながら、どちらも島状の土地を指した地名で、両者に大きな違いはないと考えます。田んぼの田の漢字がついているから、田んぼに関わる場所と考えたくなります。そうすると、田島や島田は、田んぼに囲まれた島、田んぼのある島などと解釈されます。でもそれはちょっと違うのではないかと、島状の土地ではあっても、おそらく田んぼとは無関係だろうと思います。

田島の田・夕は接頭語という、言葉の頭について言葉を整える働きをする単語だと思います。御や美みたいな役割です。田鶴・夕ズという歌語がありますが、鶴の美称であって、田んぼにいる鶴

ではありません。こうした言葉の仲間だと思われます。昔、田島は五十嵐川に突き出た半島状の土地でした。昭和初期、五十嵐川の河川改修が行われ、川に飛び出した部分を削って川の流れを変えた経緯があります。もしかしたら元は夕ではなく、飛び出すトや突き出すツが変化したのかもしれませんが。日本語のアカサタナなどそれぞれの行の音は、その中で似た意味を持っています。眼・マナコのマ、見る・ミルのミ、目・メのメといった風に、マ行音は目の部位や見る行為に関係した言葉です。タチツテトの音は土地や場所を表わすグループの音で、田んぼの田は場所を表す夕、漢字を当てると処・所になるかと思えます。また通音と言って、同じ行の中で発音が混ざり合うことがあります。それで、田島の夕がトやツからの変化で、単に島ではなく、飛び出したり突き出したりした半島状の土地を表わしているのかもしれないと考える訳です。

島田の田・夕も田んぼと関係した地名ではなく、接尾語という言葉の最後について意味を添える単語だと思います。日本人のソウルフードであるお米、この稲作と日本人との深い関係性から、夕が田の漢字と密接に結びついたのであると推測します。地名の漢字は多くが当て字ですので、漢字の意味は必ずしも地名の意味を表わしてはいません。島田も島状の処と解釈できます。島田は、島田川、五十嵐川、貝喰川、信濃川に囲まれた中洲の様な土地です。水によって明確に区分された島状の土地を表現したのが島田ではなかったかと想像します。

● ● ● 地域経営課からです～ ● ● ●

「～三条マルシェ～ごった市@ホコテン」、皆さんは聞いたことがありますでしょうか。まちなかに仮設市場を設け「人が集まり楽しむ空間」を作り、賑わいと交流を創出し、中心市街地の活性化を図ろうというものです。平成22年9月から始まり昨年度は2回、今年度は7回開催します。特に昨年10月10日（祝）に開催されました「史上最大 最強 最長」の三条マルシェでは出店舗数は100を超え、62,000人ものお客様に会場に集まってきました。人やモノ、お店やイベントなど、三条のまちなかは大賑わいでした。

そんな三条マルシェの今年度最後は、1月29日（日）に三条市厚生福祉会館で開催されます。今回のテーマは「あったまるしえ」。お鍋や焼芋、ホットスイーツのお店が並びます。10月にも出店していただいた玉ノ井部屋力士のちゃんこ鍋も再登場します。また前日の28日（土）14時からマルシェ会場に雪燈籠や雪だるまを作り、日が暮れる頃に雪燈籠に灯りをともします。どなたでも参加できますので、ぜひ前日にもマルシェに遊びに来てください。

出店舗数は40前後と通常規模ですが初の冬開催ということで、いつもと違った雰囲気三条マルシェを楽しんでいただけたと思います。寒い冬は家に籠もりがちになります。お店を見て歩いて体を動かし、あったかいものを食べて「あったまるしえ」しませんか。皆さんのご来場お待ちしております。

～三条マルシェ～ ごった市@ホコテン

●日 時 **1月29日（日）** 10:00～15:00

●会 場 三条市厚生福祉会館

※当日は会場と臨時駐車場（三条地域振興局）を結ぶ無料シャトルバスを運行します

問合せ先 三条市経済部地域経営課 担当：山崎

TEL 34-5511（内線428）

☆☆☆会員でなくても熱烈歓迎！！☆☆☆

新年会のご案内

新年を迎え、下記のとおり新年会を開催します。余市で仕込んだ10年物のウイスキー（田辺作）をいただきながら、まったりと語り合いませんか？

記

- ◆日 時 2月8日（水曜日）
午後6時～ 運営委員会（どなたでも参加してください）
午後7時～ 新年会
- ◆場 所 三条ロイヤルホテル（本町3-5-25 TEL34-8111）
- ◆会 費 5,000円
- ◆連絡先 三条女性会議 野崎ミチコ（または、お近くの運営委員へ）

FAX 0256-32-3679
TEL 0256-32-3667（昼）
TEL 0256-32-1764（夜）
E-mail: info@joseikaigi.net

2月8日（水）の新年会に出席します

氏名 _____

電話 _____

※このままFAXでお送り下さい。

編集後記：

平成24年最初の鮮度一番ができあがりました。本年もわかりやすさ、鮮度の良さを誌面に載せてお送りします。どうぞ隅から隅までお読みください。

今年もどうぞお付き合いくださいませ。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>